

<h1>てくてく通信</h1>		連絡	新日本スポーツ連盟福岡県連盟事務所 〒811-2121 糟屋郡宇美町平和1-3-11 TEL・FAX 092-934-0853
		先	新日本スポーツ連盟福岡県連盟北九州事務所 〒806-0013 北九州市八幡西区清納1-1-10 TEL・FAX 093-662-9278
No.69	発行日 2020年2月29日 発行 福岡県ウォーキング協議会		



《2月の例会報告》

日本三大酒どころ：城島の街を歩く

嶋田良裕

23日(日)10時30分、城島文化センター駐車場には、久しぶりに21名という大勢の参加者の集合。

酒蔵に誘われての参加者。ところが残念ながら日曜日は休み。ブーイングも多少あったが、和やかに了承してもらう。

スタートしてすぐに、昭和20年代まで走っていた鉄道跡地が、可愛いプロムナードとして伸びているところを歩く。途中から道標を見ながら道を折れると、城島酒街道へ出る。まもなく「花の露」の建物が道の両側に並び立ち、白壁と板壁の重厚感有り。

道を進め、地元の酒を取り揃えた「酒之竹屋」を通過、「池亀」の蔵を遠望し、川沿いを歩く。

やがて煙突に「比翼鶴」の看板、ゆったりとした敷地に蔵が立ちならぶ。

新谷橋を渡り中心街に戻り昼食、和定食を予約。金額的に美味で好評だった。ベジタリアンのアメリカ人夫妻にも好評。肉は、茶わん蒸しの中の鶏肉のみ。

男性もデザートにパフェを頼み、童心に戻る。

食後は城島城址跡へ。戦国末期に肥前国・龍造寺氏に滅ぼされ、平城のため遺構はほとんどなく、今は城島小学校となり、一角に城島天満宮が鎮座していた。

その後、筑後川に架かる赤いトランスの「六五郎橋」を右手に見ながら、のどかな田舎道をゆっくり歩いてスタート地へ到着。街全体としては、静かで落ち着いているが、閉鎖された酒蔵や店が散見され、行き交う人や旅人もあまり見かけず、一抹の寂しさも感じさせられた。

【3月の例会案内】

石炭の歴史を堀川沿いに懐古する

堀川は、江戸時代初期の元和7年(1621)から工事が開始され、途中中断を挟んで宝暦12年(1762年)に開通した人工運河です。

遠賀川と洞海湾を結ぶ全長12キロメートルの運河で、車返切貫は460メートルにも及ぶ日本最大級の切通し。当初は治水対策に、のちに年貢米や石炭の輸送路として、最盛期の明治32年には、年間13万艘の輸送船(川ひらた)が運航していた。

往時をしのぶ遺構としては、掘削工事のノミ跡が残る車返切貫(水巻町吉田から八幡西区大膳)、遠賀川からの取水口である中間唐戸(中間市)、寿命唐戸(八幡西区楠橋)などがあります。

往時を想いながら、折尾から中間までを歩く。

日時：3月22日(日)、JR折尾駅東口 9時30分集合



「寿命の唐戸」(じめのからと)下から

コース 折尾駅～五平太舟～堀川車返しのノミ跡～河守神社～屋島公園～唐戸水門～垣生公園（昼食）～垣生神社～中間市歴史民俗資料館～JR 筑前垣生駅（約10Kの平坦コース：弁当持参）

■3月例会申し込み（締め切り3月19日(木)まで）

氏名		性別	男・女	年齢	
住所	〒 —				
連絡先及び緊急連絡先	TEL () —	携帯☎			
	FAX () —	e-mail			
備考					

【4月の例会案内】



城下町「中津」ウォーク

山国川を自然の濠として16世紀末に黒田官兵衛が築いた豊後・中津。その後、細川、小笠原、長篠の戦で武勲を挙げた奥平家と城主が変わり、明治40年の廃城まで154年間奥平家の治世が続いた中津。中津城は日本三代水城の一つ。官兵衛が地の利を利用して行った交易、水路、寺が立ち並び風情ある街並み。

福沢諭吉の出身地でもあり、桜咲く中津城で歴史を思うも一日を過ごすのも風情あり。

日時：4月5日（日）、JR 中津駅北口 10時集合

コース：中津駅～合元寺（赤壁寺）～円応寺～西蓮寺～福沢諭吉旧居～中津城（昼食）～生田門～歴史民俗資料館～自性寺～中上川公園～中津市役所～中津駅到着（約5～6kの平坦コース：弁当持参）

■4月例会申し込み（締め切り4月2日(木)まで）

氏名		性別	男・女	年齢	
住所	〒 —				
連絡先及び緊急連絡先	TEL () —	携帯☎			
	FAX () —	e-mail			
備考					

河内・畑 桜 ウォーク

日時：2020年3月29日（日）8時スタート、15時終了

場所：北九州市河内貯水池

集合：北九州市八幡西区 河内貯水池 白木橋駐車場

主催：玄海トリアスロンクラブ(問い合わせ：kitakyusyusakurawalk-2020@yahoo.co.jp)

参加費 大人 2,000円
高校生 1,000円
12時から豚汁・弁当
があります。

